

令和6年度事業計画の概要

まず令和5年度を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の2類から5類への移行に伴い、ほぼコロナ前の運営に戻すことができました。科学週間行事「輪ゴム動力車大会」を実施したほか、夏休み創意工夫工作教室に延べ1304名のクラブ員が参加し、491点の創意工夫作品を完成しました。「夏休み創意工夫工作作品展」も開催し延べ1200名のクラブ員や保護者の方が来場され展示作品を熱心に見学していただきました。各種コンテストへの参加も活発に行い、以下の通り優秀な成績となっております。

- ・OM (Odyssey of the Mind) 2023 世界決勝大会はミシガン州立大学で行われ、見事に**総合2位銀メダルとラナトラ・フスカ賞をダブル受賞**しました。
- ・第11回少年少女チャレンジ創造コンテスト全国大会が愛知県国際展示場で、全国60チームが参加して4年ぶりに開催されました。当クラブからは2チームが出場してJKA会長賞銀メダルと銅メダルを受賞しました。
- ・あいち少年少女創意くふう展2023では、7位日本弁理士会会長奨励賞、8位発明協会会長奨励賞、9位愛知県発明協会会長賞、10位中日新聞社賞、クリーン賞、振興賞2名の過去最多計7名が入賞し、全国展へ6名が進出する素晴らしい活躍を遂げました。
- ・第54回市村アイデア賞において32,688件の応募の中から、刈谷市立住吉小学校2年松田佐空さんの「けがせんカッター」が1位の**文部科学大臣賞**を受賞したほか審査委員長特別賞や、市村アイデア奨励賞2点、佳作10点、努力賞6点と昨年以上の成績を収める大活躍でした。
- ・第82回全日本学生児童発明くふう展では、5位**特許庁長官賞**1点、入選5点と好成績をあげることができました。

令和6年度の事業につきましては、学年毎のプログラミング教育を1学年上のレベルに引き上げるため講座の見直しを進めました。また令和6年3月にいただきました、豊田理化学研究所からの特別寄付金を活用して、先端的な加工技術やプログラミング、AI画像認識などを学ぶ新講座、「AIチャレンジコース」を新設しました。より高度スキルを習得できる小学4年生以上の選抜コースとしております。

運営費の主原資はトヨタグループ各社からのご寄付に加え、刈谷市からの補助金および一般財団法人石田退三記念財団や地元企業等からのご寄付となっております。会員数は1,000名以上を維持し日本一の規模となっております。収支バランスを考慮して経営の健全化を進めます。

当財団の設立目的であります「次代を担う児童又は青少年に対し、科学技術に関する興味・関心を喚起すると共に、創造活動を通してアイデアを実現する喜びを体験させることにより、創造性豊かな児童又は青少年の育成に寄与する」ことを推進するため、事業のより一層の充実を図ります。

令和6年度は創立50周年の大きな節目です。気持ちを新たに原点に立ち帰り活力ある発明クラブ活動に努めます。

以下、令和6年度の事業計画内容を説明します。

1. 刈谷少年少女発明クラブ事業（刈谷市以外の希望者も受け入れ）

（1）工作技能育成教室：（一人当たり年間10講座）1講座3時間

小学2年生から中学3年生までを学年別クラス編成します。

能力に適した材料・道具を使いこなせるようなカリキュラムに沿って紙工作、木工工作及び電気電子工作やプログラミングなどを指導します。

（2）入門コース：（小学1年生対象、一人当たり年間10講座）

「夢と学びの科学体験館」で紙工作中心の講座を主に行います。

（3）創意工夫工作教室：（土曜日午後・日曜日に開催、何回でも参加可）

子どもたちが創造性を発揮させながら自分のアイデアに基づいた作品を作ります。図面作成・材料選択・製作・完成発表までを指導します。

（4）OM教室： ※Odyssey of the Mind の略（世界青少年創造性競技大会）

OM基礎コースとOMコースがあります。本年は5月にアメリカアイオワ州立大学で行われる「2024OM世界決勝大会」へ参加します。本年の長期課題は「ドライブイン・ムービー」です。昨年10月から新チームを結成し毎週日曜日に活動訓練しています。また当日課題についての想定訓練を行います。また英会話研修、発想法研修、チームワーク養成等も行います。

OM基礎コースはOM準備コースとして、小学6年生から中学1年生の希望者を受け入れます。内容は創造力育成訓練と英語による自己紹介練習、プログラミング教育、チームワーク育成等を行います。

（5）チャレンジ創造コンテストコース：

発明協会が主催する1チーム2～3名でからくりパフォーマンスを競う大会です。刈谷地区予選大会を実施し、全国大会2チーム出場を目指します。

（6）AIチャレンジコース（豊田理化学研究所からの寄付金活用）

自動運転ロボットカーの製作過程を通して先端的なAI画像認識などを学びます。講座の中でチャレンジ創造コンテスト出場に向けた育成も行います。

2. その他協力事業

愛知県経済産業局や刈谷市教育委員会、刈谷市理数大好き推進協議会、愛知県発明協会などからの依頼により出張工作教室を開催します。

3. 指導員研修

愛知県や愛知県発明協会が主催するセミナーなどに参加します。

4. 広報活動

4-1. 刈谷少年少女発明クラブ機関誌の発行

（1）月1回クラブ員活動紹介の「アイデアニュース」を発行します。

（2）令和5年度の活動内容をまとめた「記録2023」を発刊します。

4-2. ホームページ

事業内容の詳細を記述した事業紹介、クラブ活動状況、募集情報、入賞作品等を掲載し、子どもやその保護者に必要な新しい情報を提供します。

5-1. クラブ員数

令和6年度のクラブ員数は、前年より減少の1,060名程度の見込みです。
男女比率としては、男性約7割・女性約3割となっております。

内訳

*市外比率18%

学年	新規	継続	令和6年度	(市外)	令和5年度
小1	260	—	260	(25)	260
小2	30	173	203	(31)	236
小3	18	159	177	(30)	220
小4	10	156	166	(34)	149
小5	7	109	116	(33)	121
小6	3	71	74	(22)	65
中1	3	30	33	(9)	25
中2	1	25	26	(9)	14
中3	0	9	9	(3)	22
計	332	732	1,064	(196)	1112

5-2. クラブ員数推移

コロナ禍の令和4年度1127名であった会員数は、2年連続減少となり令和6年度は1067名の見込みです。内訳を分析すると中学生は同数、小学4～6年2.2%減、小学2・3年16.5%の大幅減少です。継続しない理由は他の習い事や塾が忙しくなったなどです。コロナ期間中の保護者へクラブ活動内容のPRが不足していたことも原因です。一方、今年度から新たに小学4年生以上に始めるAIチャレンジコースの応募が2倍以上と好評であり、専門指導員の採用も行い、プログラミング教育の拡大強化を計画して会員数増加に取り組みます。

